

## デイサービスセンターなごみの郷落合の『納涼祭』

デイサービスセンターなごみの郷落合では、8月29日(火)～31日(木)の三日間、恒例の『納涼祭』を行いました。夏を締めくくるにふさわしい、笑顔いっぱいオモシロ企画です。

デイルーム内には、お祭りムードを盛り上げるかわいい提灯や、手作りの看板を飾り、はっぴを着た職員はさらにお祭りの雰囲気醸し出しました。日替わりのゲームは、皆さん子供の頃から馴染み深い3つのゲームを用意しました。

一日目は、「ヨーヨー釣り」です。ビニールプールに水をはり、浮かべた色鮮やかなヨーヨーを釣っていきます。カギの付いた紐を使ってヨーヨーのゴムの輪を引っかけるのですが、輪が沈みなかなか上手く釣れません。「難しいねえ、手で釣ったらいけんの?」、「昔はほんまに上手じゃったんよ。」などと大騒ぎです。その中で一分間に最高7個のヨーヨーを釣られた方がおられ、「すごいよ!」と大歓声が上がりました。



二日目は、水風船もいっしょに浮かべて「金魚釣り」です。(金魚はおもちゃです)慎重に一匹ずつすくう方や、ポイの紙が破れるほど豪快にすくわれる方など…、個性が見えて盛り上がりました。一位のチームには景品が用意されていたので、いつもも増してチームの団結力も上がったのではないのでしょうか。二日目は、職員で「ラムネの早飲み」をしました。用意ドン!の合図で早飲みスタートすると意外な速さで飲みきる職員にオー!という歓声が。と思えば炭酸の強さにむせ返る様子に爆笑が起きていました。

三日目は「射的ゲーム」です。吸盤付の鉄砲でテーブルの上に置いた的を狙います。的には職員の顔写真が貼ってあるものを用意し、倒した的の点数で競い合いました。皆さん鉄砲を構えられ狙いを定めておられる姿はとても真剣で、パン!と打ち抜かれると「すごいね、上手じゃね。」と大きな拍手がわき上がりました。この日は、職員による「ロシアルーレット」をしました。甘いプチシューの中に1つだけワサビをしこみ、3名の職員が一斉にパクリ。名女優・名俳優の演技を楽しみながら、誰がワサビ入りプチシューを食べたかを当てていただきました。当たりを食べた職員は涙を流して奮闘し、さらに笑いを誘いました。最後に全職員での銭太鼓「ドンパン節」を披露しました。練習不足で上手くできなかったかわからない余興でしたが、利用者様から「よかったよ、きれいに揃うて気持ちがいいものを見せてもらうたよ、ありがとうね。」などと嬉しいお言葉をいただきました。

今年の納涼祭も皆さまのご協力のもと、楽しく笑顔にあふれた時間を過ごすことができました。来年のお祭りもよりよいものになるようにと思います。ご参加ありがとうございました。



デイサービスセンターなごみの郷落合 空千賀子



# デイサービスセンターなごみの郷 落合 10月カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
日付	1	2	3	4	5	6	
午前		リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	落合幼稚園 交流会	ピアノ喫茶	リハビリ体操 頭の体操
午後		レクリエーション	レクリエーション	レクリエーション	レクリエーション	レクリエーション	レクリエーション
備考							
日付	8	9	10	11	12	13	
午前		リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操
午後		アロマテラピー	レクリエーション	レクリエーション	映画上映会	音楽レク	レクリエーション
備考					絵手紙教室		
日付	15	16	17	18	19	20	
午前		リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	ピアノ喫茶	リハビリ体操 頭の体操
午後		レクリエーション	民謡	DS 運動会	DS 運動会	DS 運動会	レクリエーション
備考							
日付	22	23	24	25	26	27	
午前		リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操
午後		レクリエーション	民謡	レクリエーション	カラオケ	レクリエーション	レクリエーション
備考		行楽ランチ	行楽ランチ	行楽ランチ	行楽ランチ	個別アロマ	
日付	29	30	31				
午前		リハビリ体操 頭の体操	リハビリ体操 頭の体操				
午後		レクリエーション	レクリエーション				
備考							

## デイサービスセンター落合の ～カープ愛～

デイサービスセンターなごみの郷 落合では、プロ野球のシーズン中、広島カープの話題があちらこちらで盛り上がりを見せています。カープが試合に勝利した翌日は、「昨日も勝ったね、いいところで打ったよ。」「優勝は間違いないけえ、今年は日本一になってほしいね。」等、普段、物静かな方もカープの話では笑顔があふれています。カープが強いと皆さん本当にお元気で私たち嬉しくなります。



レクリエーションの時も、カープを応援する意味もこめてユニホームを着て楽しむこともあります。やはり気合の入りがいつもと違う感じがします。デイサービスの朝の会でもカープの話題を出して利用者様に会話を振ると前日の試合のことを詳しく教えていただけます。「今日は何時から中継があるの?」「今日はどこでやるの?」と聞くとすぐに答えが返ってきます。皆さんカープがホントに大好きなんです。

今年はマジックが点灯したり消えたりしましたが、9月18日に遂にセリーグ優勝を決め、さらにカープ熱はヒートアップ!

これからも一緒にカープを応援していきましょう。日本一めざして頑張れカープ!!



デイサービスセンターなごみの郷 落合 山本 恵美



# ケアハウス 風船野球



去る 8 月 23 日、高校野球 決勝戦で盛り上がっていた一日、ケアハウスでは風船野球をしました。ルールは、もちろん なごみオリジナルルールです。ボールは風船・バットはラップの芯・グローブは麦わら帽子。攻撃チームは、床に立てた棒の上のボールを、1人3球バットで思い切り打ちます。守備チームは、打ち上がったボールを床に落とさないように、グローブでキャッチします。上手にグローブでキャッチできれば守備チームの得点、ボールを捕られず床に落ちれば攻撃チームの得点です。

試合は、赤白 2 チームに分かれ 2 回を戦いました。緊張の 1 回。「ヨイショ！ あら～当たらんわ」と、狙いは定めるもバットにボールが当たらず空振りされる方、「当たった！！」と思えば、ボールを高く後方に打ち上げてしまう方、体ごと飛んでいきそうな勢いでバットを振る方。両チームとも、なかなかコツを掴めず ボールを上手に前へ飛ばすのに、とても苦戦されていました。



そして、早くも最終 2 回。”カキーン”と音は鳴りませんが、みなさんホームラン並みに打撃が絶好調で、「飛んだ、飛んだ！」と、打者は満面の笑顔になっていました。打撃が好調なら、守備も負けてはいられません。みなさん飛んでくるボールに、我こそはと、グローブを前に上にと向けられていました。ゲーム後半になるとチームワークもみられ、グローブを弾いて落ちそうになったボールを、すかさず隣の方がキャッチされたり、手を思い切り高く伸ばし届きそうにないボールを見事キャッチされたりと 好プレー連発で、敵・味方関係なく歓声が沸き上がっていました。ゲームとなると、みなさんの負けん気はすごかったです。

残暑厳しい中 激闘の結果は、“21-17”で赤チームの勝利となりました。



	1回	2回	合計
赤	7	14	21
白	8	9	17

最後に、皆さんの火照った体をアイスを食べ冷やして頂きました。「昔、これをよく買って食べとったんよ」と、人気は、やっぱり昔ながらの“あずきバー”でした。



## メゾン・クレアなごみ

皆さん こんにちは。秋風が心地良い時節となりましたが、お慶びございませ  
せんか。

医療介護支援住宅メゾンクレアが開設し、早いもので 5 ヶ月が経ちました。  
少しずつ入居者も増えてきて、現在は 15 名の方が入居されています。

そんな皆さまへの生活支援を行いながら、少しでも日々の生活の中に息吹  
を注入できたらいいなと思いながら関わりを持っています。

そんな中、今回は家族様が集われてお誕生日会を行われた方をご紹介します。  
いただきます。



ホールのテーブルにケーキを置いてお祝いをされながら、とても笑顔の多い時間を過ごされてきました。そ  
の光景を拝見させていただき、私たちも心温まる時間を過ごすことができました。

自分もそうですが、家族は大切な人であり、切っても切れない仲間です。お互いの立場を尊重しながらも、それ  
ぞれの生活を貫いて生きていくうえでは、なかなか揃うことが難しいのが現状です。だから、一瞬でも共有する  
ことができる時間は大切なものとなってきます。そんな自分と照らし合せながらその家族様の誕生日会を拝見す  
るに当たり、こちらの心もほのぼのとしてしまいました。ありがとうございます。

折に触れて、これからも利用者様を中心に、私たち職員も一緒に笑顔があふれるメゾンクレアとなれるよう、  
スタッフ一同切磋琢磨していきたいと思っています。

### おたんじょうび おめでとう





去る9月7日～9日の3日間“なごみの郷”地域交流スペースを会場として昭和の生活を思い起こさせる【なつかしの人形展】を開催いたしましたので、報告させていただきます。

この作品の作成者である木村 茂 様は、昔の人々の苦勞があってこそ現代の豊かな生活があると考え『感謝の思い』と『後世への伝達役』の一旦を担いたいとの思いから“なつかしの人形展”の作成を始められたそうです。

この作品展では、昭和よりも以前から日本の農村はこのように稲作や家庭生活を送っていた、という事が正確に表現されています。また、作品は全て手作りであり、手動で人形が動くようにとても精巧に作られています。利用者様も実際に見たり動かされたりし、「なつかしいね、昔はこんなだったんよ！」等と以前の生活の様子や思い出を話して下さりました。その際の皆様の笑顔は普段の生活の中とは違った昔を懐かしむような表情であり、このような特別な笑顔をしていただけるような機会をもっと作っていけるように精進していきたいと、考えさせられる思いでした。

この度の作品展は、利用者様にとっては昔を懐かしむ一時であり、私たちにとっても昔の文化を学ぶことのできるとても良い機会になったように思います。このような機会を与えて下さった木村 様には改めて感謝を申し上げます。

本当に、ありがとうございました。

これからも素敵な作品を見せていただけることを心待ちにしております。

## 「なつかし人形展」の開催

### 報告②



特養3階 山口 翔二郎



## 訪問介護コーナー

### 「出会いに感謝」

ある方は出征された外地で、ある方は原爆に遭い大変な時期に、また女学校から軍需工場へ動員されていたよという方、特攻隊の出撃前に終戦を迎えたと話される方もおられました。仕事をしながら、折々に聞かせていただいたのは貴重な体験ばかりです。

今回紹介させていただくのは、91歳の男性です。終戦を迎えた時は、東京の士官学校に在籍されていたそうです。

「日本が負けるとは思わなかった」と言われますが、戦後の生活の変化にも柔軟に対応され、家族のために懸命に働いてこられました。現在は一人暮らしをされていて、体調にも波はあるけれど、「なんとかなるでしょう」と笑って済まされます。穏やかだけど、戦争を潜り抜けてきた方は、戦後生まれの私たちには及びもつかない強さを持っておられ、敬服するばかりです。

そして、なんと1年前から突然俳句を始められ、今はすっかり没頭されています。俳句のノートはいまや11冊目になりました。90歳で新しい趣味を見つけ、夢中になれるなんて素敵だと思いませんか？本当に見習いたいと思います。

最後に、1年前に初めて作られた句を紹介したいと思います。

「つくと 世の定め説く 法師蟬」

